



# 小倉工業北辰会報

HOKUSHINKAI

Vol. 73

http://www.hokusin.net/ 発行：平成28年12月16日

## 平成28年度 北辰会総会開催される

平成28年度北辰会総会は、5月29日(日)に小倉飯店(北九州市小倉北区堺町)で開催されました。今年の当番幹事は、平成5年卒と平成17年卒の皆さんが務めました。福田祐治(平成5年電気卒) 幹事長始め当番幹事は、小人数ながら各支部総会、交流会等に出向き広告の依頼や会員券の販売に積極的に取り組みました。

総会は、岡田研一郎氏(平成5年電気卒)が、司会を担当し下條純子氏(平成20年工化卒)の開会の辞で始まりました。平成27年度にご逝去された39名の方々(事務局へ連絡があった方のみ)のご冥福をお祈りして黙祷しました。会長挨拶では、ご来賓の皆様への謝辞と熊本地震被災者へのお見舞いを述べ『母校卒業式に参列して後輩のきびきびした雰囲気感動しています。北九州の活天地から社会へ飛び出していく、まさに意気天を衝く雄姿であります。全国一の工業高校として後輩が勉学に励み、部活でも成績を上げることができるよう期待しています。』『昨年、中部・東海地区では昭

和27年から平成10年代卒の20数名による初めての交流会が行われました。6月には、新入歓迎会が予定されています。新たな地域の活動を支援していく所存です。会員諸氏のご協力をいただき北辰会の充実・発展を目指しています。』と、協力と支援をお願いしました。

今年は、役員改選の年にあたり坂田繁(昭和31年工化卒) 役員選考委員長から選考委員会の経過が報告され、参加者の了承を得て新しい三役(会長・副会長・監査)が決まりました。終りに、現役応援団、吹奏楽部の皆さんの協力で校歌を斉唱し、総会を終えました。

懇親会に先立ち雅京会(真宗大谷派の僧侶グループ)による雅楽演奏が行われました。演奏の合間に、笙・箏・篳篥・童笛・羯鼓等楽器の説明や雅楽から生まれた言葉、塩梅(えんばい)：あんなばい「あんなばいが悪い」、千秋楽(雅楽の曲で舞台や相撲の最終日)等の説明もありました。雅楽演奏を生で聴く機会は珍しく、会場の皆さんは興味深く聴き入っていました。



## 新役員紹介 (敬称略)



会長 梶原 裕明(留任)  
(昭和42年 電子科卒)



副会長 馬場 光三(新任)  
(昭和42年 電子科卒)



副会長 林 武博(新任)  
(昭和45年 電気科卒)



副会長 肱岡 正幸(新任)  
(昭和53年 電気科卒)



副会長 下條 純子(留任)  
(平成20年 工業化学科卒)



監査 福井 一憲(留任)  
(昭和50年 機械科卒)



監査 久保 直樹(新任)  
(昭和50年 機械工作科卒)

## 平成29年度 総会のお知らせ

平成29年度北辰会総会は、5月28日(日)小倉飯店にて行います。当番幹事は、平成6年卒と平成18年卒の皆さんです。会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

# 会長挨拶



籠原

裕明（昭和42年 電子科卒）

年の瀬を迎え、寒さも増して参りましたが、皆さんには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、お手元に届いた北辰会報、新しくなったなあど喜んで頂ければ幸いです。

北辰会報は、会員の皆様の絆となり、母校の活躍など近況を知る重要な役割を果たしています。これまでに73号を数えていますが、年2回発行で36年目となります。当初は、学校新聞が春に、同窓会報を秋に発行という形でしたので、40年を遙かに超える新聞の発行となります。正に、歴史と伝統を誇る我が校の活動です。特にここ十数年は毎回編集委員会を開催し、今津光義様（昭和29年 機械科卒）には、委員長として重要な役割を果たして頂きました。長年のご苦労に感謝しながら、今年度からは、北辰会役員・事務局で新聞づくりにあたっています。北辰会会員の皆様、そして、

在校生、お世話になっている先生方に少しでも見やすく、色々な話題の入った新聞づくりを目指し、思い切った編集スタイルも変えた新聞をお届けしました。

これまで以上に北辰会報を通して、母校の活躍や北辰会活動、会員の皆様の近況など、紹介していきます。

今年の母校の活躍はめざましく、就職は10月末までに全員決まり、全国ナンバーワンの決定です。また、部活動もめざましく、陸上部の34年連続のインターハイ出場、空手道部の九州大会2位、そして野球部は県大会準決勝で惜敗しましたが、21世紀枠で春の推薦候補になるなど、その活動は、意気天を衝く大丈夫の如く、我々先輩の誇りであります。

会員の皆様、母校関係の皆様に取りまして、来年も素晴らしい年となり母校共々活躍できることをご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

## 倉工卒業後50周年記念同窓会

代表幹事  
小屋敷 憲治（昭和41年 工業化学科卒）

11月6日(日)ステーションホテル小倉に於いて、昭和41年卒業生の同窓会を開催いたしました。

当日は、90歳を超えてもいまだに健全な、工業化学科恩師 吉田繁美先生、機械科恩師 藤井（石田）繁先生、電子科恩師 榎司郎先生、又母校平野校長、石津教頭、北辰会坂田事務局長、及び昭和40年卒業の先輩2名の出席を頂きました。卒業生90名が50年振りに会うため、卒業時の顔写真を名札に付け各自が確認、認識できるようにし50年を経ても変わらない方、まったく50年前の面影のない方等、お互いの変化に会話が弾みました。

歓談時には、在校時の各クラスや各クラブ、修学旅行時の写真をプロジェクターで写し、若き時代に戻ったようで好評でした。

又、久しぶりの科歌の合唱等で盛り上がり、2時間半があつという間に過ぎ去り、次回再会を約束し別れる方、二次会へ流れる方、名残惜しみながらの散会となりました。



## 卒業から50年

### 昭和42年 卒業50周年記念同期会を開催

山辺 政男（昭和42年 機械科卒）

昭和42年卒業生は60歳の還暦同期会からオリピック年に同期会を開催しており、今年はその年に当たり、去る10月30日(日)に小倉リーセントホテルで、「卒業50周年記念同期会」を開催致しました。恩師の杉本先生、母校より教頭先生、北辰会より坂田事務局長様にもご出席頂き、全国各地より56名の同級生が参加しました。開催前には母校見学会も行い校内、体育館、実習場等を懐かしく見て回りました。

思い起こせば在校時には1年と3年時に野球部が二度も夏の甲子園に出場し、しかも3年時にはベスト4の快挙を達成するという言わば栄光の時代に学生生活を過ごせた世代であります。懇親会は近況や甲子園の話題を中心に思い出話に花が咲き、大いに盛り上がりました。最後に校歌、応援歌を元応援部の音頭で斉唱し、次回の東京オリンピック年での再会を誓ってお開きとなりました。今回若干ですが、同期会として野球部にボールを贈呈し、教育振興基金へ会場で賛同して頂いた募金を寄付する事が出来ました。関係者の皆様本当にありがとうございました。





## 福岡支部の活動

### 有田バスハイク

福岡支部では、支部会員交流のバスハイクを、今回は「有田陶磁器創業400年」の年であり、有田工高も一見の価値ありとの意見で、有田陶器巡りを6月25日(土)に参加者18名で実施しました。バスは北辰会のバスを利用して頂き、有田工高の訪問については麓原会長のご尽力で、同校の吉永先生を紹介して頂き実現しました。

有田工高は明治33年創立、小倉工高より1年遅く今年で116周年の歴史と伝統があり、陶磁器産業界に数多くの名工を輩出しております。又、工業高校では珍しいデザイン科があり、世界的に有名なデザイナーも輩出しており、校内には生徒の陶磁器作品、デザイン作品が展示されており、学校と美術館が1帯の様に感じました。

有田工高見学後、吉永先生の案内で日本磁器が始まった泉山磁石場、有田焼陶祖を祀る陶山神社、有田の歴史を見る陶磁器文化会館などを見学し、有田の陶磁器文化を堪能した一日になりました。



## 図書館再興について



岩井 英司  
(昭和25年電気科卒)

1944年(昭和19)の入学生は、二種類あった。旧来の国民高等学校卒と国民学校卒で後者の中に国民高等学校一年修了者も含まれる。

入学は二種類であったが、卒業は三つに分かれた。さきの前者、つまり旧制の入学者は4年、後者は旧制中学と同じ5年で卒業、新制高校で卒業したものは6年で卒業した。しかも新制高校一期生で卒業した時の学校名は県立小倉中央高等学校であった。

新制高校一期生が卒業した1950年は、朝鮮戦争が始まる前で、不況のどん底にあり、戦争特需により活況を来たすようになるとはそれから二、三年後のことである。

倉工に入学して一、二ヶ月経った頃、勤労学徒動員で小倉造兵廠で働くことになった。翌年は八幡製鉄所で働き、大空襲にあった。

旧校舎の校長室の奥の建物に図書室があり、戦前に出版された漱石全集の一部や伝記などが、本棚に疎らにあった。

昭和23年の春、電気、機械、応用化学の本好きが集まり、図書室再興のため部を創った。そして、生徒から毎月20円徴収し、本の購入に充てることにした。生徒が600名いたので毎月1万2千円分の本を購入した。それ以外に、貸出窓口で「サツカリンあります」と掲示し、人口甘味料を売った。仕入れは、部員の家族に入手ルートがあった。

本の購入は、先生方の協力で蔵書を譲っていただいたり古本を買い求めて少しは、図書館らしく整った。

その時の努力が、現在の図書館につながっていると思うと感慨深いものがあります。

## 校訓を原動力として



相川 友理子(旧姓:高瀬)  
(平成元年工業化学科卒)  
長崎県女性警察官第1期生

皆様、お元気ですか?平成元年3月に工業化学科を卒業した、旧姓高瀬です。

私は現在、長崎県警で女性では数少ない警部として勤務しています。今は、県の知事部局に派遣され、青少年の健全育成に微力ながら尽力させていただいています。

卒業直後、長崎県警入りし、間もなく28年。多分、当時の私を知っている方は「こんなに続くとは。」と思っっているかなあ。なんせ無口でしたので、自分でもびっくりです。(笑)

警察の仕事は人の命にも関わる仕事でもあるため、ずっと休めなかつたり、夜中に呼び出されたり、規律も厳しかったりと、結構大変なところもありますが、続けてこれたのは、多分、倉工での恩師や先輩、そしてクラスの皆さんとの3年間があったおかげだと感じています。(いろんな方に支えられ、励まされながら、かなり精神的に鍛えられた気がします。)

「真理探究」、「質実剛健」、「勤労努力」その校訓が、未だに私を奮い立たせる良い原動力で。(ちゃんと出来ているかといえ反省も多いのですが。)

今、警察でも女性の登用、採用拡大が進んでいますが、長崎県の女性警察官第1期生でもある私は、後進の目標となるべき立場であることを自覚して、今後も頑張らなければと思っています。

また、いつか、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

## 諦めず行動、道は開ける



山縣 慶浩(平成10年電子科卒)  
トヨタ自動車九州(株)技術職

在校生の皆様、勉強、部活動お疲れさまです。私から、学生時代、就職を振り返りお伝えします。

結論「諦めず行動し続ければ道は必ず開きます。」

私は現在、自動車製造業で技術職に携わっています。安全でより魅力的な車をお客様に届ける為、新しい車の生産準備やラインの維持管理、技術的改善を行う日々です。

学生時代は将来の目標もなく、勉強も留年しなければいい程度。就職希望もなく、現在とは違う会社に勤めました。

私の転職は入社3年目。技術職をされている先輩に、知識と意識を教えてくださいました。「仕事に楽しさがあったら、ありがたう。」と声をかけて頂き、嬉しさと初めやりがいを感じました。私はもっと学びたいと思い、製造業でお手本にされているトヨタ自動車に転職しようと決意しました。

2年間、資格の取得と技術取得の為、社外講習など自費で参加しました。何度も諦めそうになる日々をこえ、合格し現在に至ります。

最後に、私は学生時代を後悔した時もあります。しかし、「過去の自分がいたからこそ、現在の自分がいる。」と今は思います。失敗の先にご行動する事で、結果は大きく変わると知りました。なので、もう後悔していません。在校生の皆様も、変わる時が必ず来ます。たとえ遅くなくても諦めず、行動してください。道は必ず開きます。

# ～学校だより～

## WRO全国大会出場

9月18日(日)第13回WRO JAPAN大会が東京スポーツ文化館で行われました。

小倉工業から電子機械科3年田中大樹君、高橋航平君、輪竹花さん(写真前列左から)3名が出場しました。

このWRO(ワールド ロボット オリンピアード)大会は、プログラム開発による自律型ロボットの競技会で地区予選を勝ち抜いたチームが、全国大会へ出場します。結果は、残念乍ら入賞を逃がしましたが、熱心な顧問の先生の指導により今後の活躍が期待できます。

当日は、関東支部から野見山支部長始め役員が、応援に駆け付けました。



## 村野藤吾作品母校へ還る

建築家 村野 藤吾氏(明治43年 機械科卒) 設計  
旧八幡図書館れんが

北九州市旧八幡図書館を解体するにあたり、外壁れんがの譲渡を申し入れました。

数回の交渉を重ねるなかで、丸窓と階段手摺等も残っていることが判り、これらの部材を使いものづくりの教材として使用する他、母校創立120周年に向けてモニュメントを制作するとして譲渡して頂けることになりました。

この外壁れんがには、村野先輩の強い思い入れがあったようです。母校卒業後、八幡製鉄所で勤務した経験から、製鉄所の高炉から発生する鉱滓を混ぜたれんがを外壁に使用していました。ものづくりに拘る村野先輩の姿をみることが出来ます。

この鉱滓れんがを製造するのに時間を要し、図書館の完成が1年程遅れたとも云われています。



丸窓



階段手摺コーナー



れんが



階段手摺

## 福岡県一早い進路状況(工業高校)

今年度9月末、福岡労働局から、福岡県内高校新卒者の求職者数7,083人に対し求人数14,179人と求人倍率2.0倍と平成4年以降最高になったと発表されました。

その中で本校は、求人企業数と求人数(1社に対する求人枠の増加)ともに増加という、生徒にとってはとても良い状況となりました。しかし、この現状に満足することなく3年生は進路実現にむけ夏休み返上で努力を重ねてきました。

その結果、10月28日には、就職希望者171名の全員の内定をいただき、いち早く就職率100%を達成することができました。

進学希望者においても現在、推薦入試やセンター試験受験に向け努力しております。

この成果は、同窓の皆様の

各企業や各職場でのご活躍と本校への温かいご支援によるところが大変大きいと感謝しています。さらには、先輩諸氏から引き継がれている倉工魂で、一人一人が高い進路意識を持って取り組んできた成果だと思います。本校職員は、今後もこの伝統を引継ぐべく在校生全員の進路実現に向け、全職員で指導してまいります。

〈就職希望者：171名〉	
内 定 者	171名
(県内81名、県外90名)内定率100%	
公務員希望者	3名
進学希望者	21名
合 計	195名

11月1日現在

## 21世紀枠(福岡県推薦される)

来春の選抜高校野球大会へ福岡県高野連から21世紀枠に推薦されました。

秋の九州地区大会県予選で東海大福岡(九州大会準優勝)と対戦し1-1、9回降雨の為コールドゲームで引き分けた再試合は0-2で負けはしましたが、熱戦を繰り広げました。

ここ数年実績の出なかった野球部ですが、久しぶりに県大会へ進み、今一歩で九州大会出場を逃がしました。

この努力が認められ、福岡県から21世紀枠に推薦されました。しかし、選抜されるのは全国で3校と極めて狭く、甲子園出場の可能性は限りなく低いと思われます。

これを契機に県大会上位の常連校を目指して努力すれば、近い将来甲子園も夢ではないと期待しています。

甲子園で母校野球部を応援したいと願っている卒業生が多勢いることでしょう。



### 【秋季大会の成績】

- 1 回戦 小倉工10 - 3 嘉穂東
- 2 回戦 小倉工9 - 0 直方
- 3 回戦 小倉工7 - 1 常磐
- 4 回戦 小倉工2 - 1 福島
- 準決勝 小倉工1 - 1 東海大福岡(雨の為9回途中コールドゲーム)
- 再試合 小倉工0 - 2 東海大福岡

## 吹奏楽部定期演奏会のお知らせ

第11回定期演奏会は、平成29年2月4日(土) 13時30分からウエル戸畑大ホールにて行います。入場無料です。多数のご来場をお待ちしています。

# 会計報告

## 平成27年度北辰会決算書及び平成28年度予算案

(単位:円)

費目	平成27年4月1日～平成28年3月31日			摘要	平成28年度 予算額
	予算額	決算額	対比増減		
前年度繰越金	565,243	565,243	0		387,431
同窓会費	2,400,000	2,065,500	334,500	1,033件	2,100,000
新入生入会金	600,000	600,000	0	@3,000円×200名	600,000
在学同窓会生費	3,534,000	3,535,500	△1,500	@500円×12ヶ月×1,2,3年	3,564,000
預金利息	57	88	△31	福銀1 21円 福銀2 67円	69
名簿販売金	90,000	49,500	40,500	11冊	45,000
雑収入	310,700	305,000	5,700	総会より300,000円	303,500
合計	7,500,000	7,120,831	379,169		7,000,000
支部還元金	100,000	27,500	72,500	支部活動支援費	50,000
組対策	300,000	316,056	△16,056	組織強化費用	400,000
大編集	1,000,000	500,000	500,000	名簿積立金	800,000
部後活	1,200,000	1,200,000	0	部活動支援費用、同窓会バス補助	1,200,000
事務手当	1,000,000	1,000,000	0	事務局長手当	1,000,000
人件費	1,400,000	1,360,170	39,830	パート代(交通費含)	1,400,000
印刷費	200,000	217,852	△17,852	コピー機リース代・インク代	230,000
会報費	500,000	431,436	68,564	北辰会報印刷費、発送費	500,000
会議費	100,000	67,585	32,415	理事評議員会、支部代表者会議	100,000
通信費	150,000	136,062	13,938	電話代・領収書葉書代・案内等	150,000
旅交通費	300,000	314,850	△14,850	各支部総会出席旅費等	350,000
永年継続費	0	0	0		30,000
慶事費	150,000	150,000	0	支部総会祝儀等	150,000
産業教育費	5,000	5,000	0	産業教育等協賛費 年会費1口	5,000
事務用品	100,000	92,434	7,566	プロジェクター購入、コピー紙	100,000
振手数	100,000	76,294	23,706	会費振替手数料	100,000
雑費	50,000	63,050	△13,050	肖像写真、宿泊用枕購入等	60,000
事務局費	300,000	245,333	54,667	水道光熱費、清掃代等	250,000
予備費	515,000	0	515,000		95,000
北辰会長表彰費	30,000	29,778	222	生徒表彰記念品代	30,000
寄付	0	500,000	△500,000	基金へ	0
合計	7,500,000	6,733,400	766,600		7,000,000
次年度繰越金		387,431		福銀1 42,638円 福銀2 242,774円 現金 102,019円	

## 平成27年度北辰会定期総会決算書(平成4年・平成16年卒当番幹事)

(単位:円)

費目	金額	摘要
総会会員券	1,055,000	@5,000円×211枚
広告料	1,845,000	@5,000円×369口
雑収入	596,050	祝儀100,000円 イベント収入138,000円 前年度準備金303,050円 広告寄付等55,000円
合計	3,496,050	
総会費	1,847,378	総会飲食費、会場関係費、会場費、アトラクション代、 写真代、総会資料及び会員券等印刷代、送料等
当番幹事会議費	263,348	当番幹事会議費及び反省会費
事務局運営費	1,385,324	次年度準備金303,050円 同窓会寄付300,000円 冬季会報費392,384円 通信費、雑費、事務局運営費等
合計	3,496,050	
差引残高	0	

## 基金会計(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	14,626,480	ゆうちょ銀行定期預金 3,400,000円 福岡中央銀行定期預金 11,226,480円
預金利息	4,190	福岡中央銀行利息
寄付	500,000	平成27年度一般会計より
合計	15,130,670	
次年度繰越金	15,130,670	ゆうちょ銀行定期預金 3,400,000円 福岡中央銀行定期預金 11,730,670円

## 名簿積立金(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:円)

費目	金額	摘要
前年度繰越金	4,724,295	福岡中央銀行定期預金
名簿積立金	500,000	名簿引当金(平成32年度改訂名簿編集費)
利息	1,146	利息(解約利息含)
合計	5,225,441	
名簿制作費	4,100,000	平成27年度版
合計	4,100,000	
次年度繰越金	1,125,441	福岡中央銀行定期預金

## 平成27年度教育振興基金(一般会計)決算書

(単位:円)

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	4,022,613	4,022,613	0	前年度繰越金
寄附金	1,900,000	2,149,660	249,660	
雑収入	387	391	4	預金利息
合計	5,923,000	6,172,664	249,664	
特別奨学金費	600,000	600,000	0	@600,000円×1名
山田奨学会費	120,000	0	120,000	
科学研究奨学会費	1,000,000	992,372	7,628	電力監視板設置費・パソコン代 科学研究奨学会費(知的財産教育)
部活動奨励費	500,000	500,000	0	
教育研究奨励費	200,000	0	200,000	
国際研修費	300,000	280,122	19,878	全工協カナダ研修
管理費	200,000	111,644	88,356	振込用紙印刷代ほか
事務費	350,000	289,092	60,908	同窓会館財産使用料、メール代
予備費	2,653,000	195,864	2,457,136	日本の次世代リーダー養成塾 世界ユース陸上競技選手権 全国高校総合体育大会ほか
合計	5,923,000	2,969,094	2,953,906	

収入額 6,172,664円 支出額 2,969,094円 = 3,203,570円(次年度へ繰り越し)

## 平成27年度教育振興基金(特別会計)決算書

(単位:円)

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	9,022,466	9,022,466	0	前年度繰越金
雑収入	534	1,509	975	預金利息
合計	9,023,000	9,023,975	975	
支出	0	0	0	
合計	0	0	0	

収入額 9,023,975円 支出額 0円 = 9,023,975円(次年度へ繰り越し)

# 北辰会 年会費納入のお願い

本年も残り少なくなってきました。会員の皆様に於かれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。会員一人ひとりの貴重な浄財である会費は、北辰会運営にとりましては、最も重要な

ものです。事務局では、更に会員への情報発信と母校発展の為、努力を重ね事務の効率化と経費節減に努めてまいります。出費多端の折、誠に恐縮ですが年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

平成12年に設立し、翌年から運用が開始された教育振興基金も既に15年が経過しました。この間皆様方のご協力により順調に機能し、母校へ数多くの母校の発展、奨学資金、部活動への支援等へ大きく寄与することができました。ご協

力いただいた皆様方へ感謝申し上げます。母校への支援を続けるには、皆様方のご理解とご支援が必要です。年会費同様教育振興基金へのご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 編集後記

北辰会では、母校創立120周年に向けて準備を始めました。旧八幡図書館のれんが他を譲渡していただいた事を、手始めに北辰会報もカラー印刷としスタイルを刷新し、卒業生の手記も取り入れる事としました。今後幅広い年代の方々にご協力お願いしたいと考えています。是非ご推薦下さい。皆様のご協力をお待ちしています。